

令和7年度第1回 大学等の質保証人材育成セミナー
「内部質保証実務（授業設計 FD の活用編）」

大学改革支援・学位授与機構

1. はじめに

当機構では学位授与や評価に関する事業を行うだけでなく、それらの調査研究も実施していることから「教育の質」に関する「知」や「世界的ネットワーク」など様々な資産が蓄積されています。これらの資産は当機構の事業においても活用しているわけですが、当然のことながら我が国すべての高等教育機関のみなさまにも活用してもらえるような知見と考えております。

今回は FD（ファカルティ・ディベロップメント）をテーマに選びました。授業の内容及び方法の改善を図るための FD を組織的に実施することは、教学マネジメント指針だけでなく一般に認証評価の基準においても求められています。即ち、教育の内部質保証を進めるにあたり現状把握（点検評価）を行うわけですが、得られた結果が FD などの改善活動に結びついていない例が見受けられます。我が国においては、例えば米国に比べ、Educational Developer など授業や教育改善のための専門職が各大学にあまり配置されていない、という事情もあるわけですが、現状でもできることがあると考えられます。

そこで、今回は、授業レベルの改善とカリキュラムレベルの改善をつなぐ FD の設計法についてみなさんと学んでいこうと思います。教育の内部質保証を進めるとしても、教育活動の根幹は授業であると考えられます。現場の先生方に授業を適切に設計し十分に改善してもらうためには、どのようなことを学んでいただければよいのか、そのような FD について、専門家がいなくとも設計し実行できるような考え方を学んでいただこうと考えております。

オンラインでも配信する第1部の講義編では、授業改善 FD の実践モデルの解説だけでなく、参加いただいたみなさんの大学や学部における授業設計と改善の状況について全員で共有した上で、課題となっている箇所をどのようにすればよいのか、ということについて実際に現場で授業改善 FD を実践する教員の方々と解説していきます。

第2部の対面の演習編では、授業改善 FD の実践モデルについて、参加者のみなさんの具体的な取り組みや課題を共有いただきつつ、より具体的に解決法やモデルの導入について考えていきます。また、他大学の方とのネットワーク形成も進むとよりよいと考えました。

「大学等の質保証人材育成セミナー」では当機構を中心とした「教育の質」に関する知識循環を構成するべく学術面のみでなく実際に現場で使っていただける実践性も加味した上で、大学経営全般の質向上を想定したテーマを今後も設定させていただきます。

2. 今回のセミナーの達成目標

- ・ 授業改善のための FD を起点に教育の内部質保証の基本部分をどのように運用すればよいのか、ということについて学び、自大学の授業改善 FD の活動等の取り組みの質的向上に利用

することができる（講義編）。

- ・ より具体的事例や他の参加者との意見交換・情報交換を通して継続的・組織的な改善を見据えた授業改善 FD の実践モデルについて自大学の授業改善 FD の活動等の取り組みの質的向上に活用することができる（演習編）。

3. 開催日時・会場

令和7年8月1日（金）13：00～17：00

大学改革支援・学位授与機構 竹橋オフィス 1112 会議室

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 11 階

東京メトロ半蔵門線 / 都営三田線・新宿線神保町駅 出口 A8、A9 徒歩 6 分

東京メトロ東西線竹橋駅 出口 1b 徒歩 5 分

4. 対象と募集人数

高等教育機関における教育の質保証関連業務担当者等を対象とします（評価担当者を指揮・監督するお立場の方も含みます）。特に、授業改善 FD の設計、運用に携わっている方をメインターゲットとしています。なお、当機構の実施する各種評価に特化した内容ではなく、一般的な内容で進めさせていただきますので、受審されている（受審を予定している）評価機関を問わずに参加いただけます。

- ・ 第1部（講義編）につきましては、オンラインでの受講となりますので、特段、募集人数の上限は定めておりません。
- ・ 第2部（演習編）は、対面形式となり、15名程度を上限とします。申し込み開始から1週間は、1大学から1名の申し込みとさせていただきます。また、第2部参加者の方のみ当機構・竹橋オフィスで第1部を受講いただきます。
- ・ オンライン参加、対面参加問わず参加費は無料となります。また、いずれもフォーム等を用いたりリアルタイムオンライン調査（ワーク）にご参加いただきながら進めることとなります（報告書等で参加いただいたワークの実施結果は個人・大学等が特定されない形で公表させていただきます場合もあります）。

5. プログラム

12：45 開場予定

13：00～13：05 開会挨拶（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部長 戸田山 和久）

<第1部（講義編：オンライン配信あり）>

13：05～13：20 趣旨説明とFD/SDをどのように考えるか

畠田 敏行（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

13：20～14：20 「FDルーブリックの策定の運用（試行）について」

岩野 摩耶（山口大学 教育・学生支援機構 教学マネジメント室 講師）

竹中 喜一（近畿大学 IR・教育支援センター 准教授）

<p>内容：授業改善 FD の実践モデル（FD ルーブリック：右図）の考え方やそれを活用した実際の授業改善活動について解説し、個々の授業改善をどのように組織的改善と連携させればよいのか、ということについて解説します。また、リアルタイムで参加者のみなさんの大学・学部等の現状を回答いただき、その課題解決のための考え方やヒントを提供していきます。</p>	大項目	中項目		科目レベル(授業全体)/授業レベル(1回の授業)
	設計	「全体目標とカリキュラム（プロセス）の把握」	ディプロマ・ポリシー（DP）	科目レベル
			カリキュラム・ポリシー（CP）	科目レベル
		学修目標とその評価方法		科目レベル
	実施	授業設計（シラバス作成）		科目レベル・授業レベル
		学習指導法		授業レベル
		学修状況の把握		授業レベル
点検・評価	授業の見直し		科目レベル	

14：25～14：40 質疑応答（質問記入タイム 14：20～14：25）

- ・ 質疑応答につきましては、対面参加の方も含めオンラインで質問等を入力いただく方式で計画中です。
- ・ 質問内容は画面上で共有し読み上げますので、個人名等が入らないようご注意ください。
- ・ 質問が多かった場合には、先着順の回答となりますので、ご承知おきください。
- ・ 最大延長 14：50 となります。

<第2部（演習編：対面のみ）>

14：50～15：45 演習1「具体的事例を踏まえた授業改善FD設計と運用」

- ・ 授業改善FDの実践モデルについて、フェイズごとにみなさんの状況を簡単に伺いつつ、講師陣が、より具体的な解決策について提案したり、事例を提供することで、自大学において実際にどのようにFDを改良していくか、という具体案について考えていただきます。

15：45～15：55 休憩

15：55～16：35 演習2「授業改善FDの現状と課題から実践的改善を目指すには」

- ・ こちらで指定した班（4人程度の班を想定）に分かれ、課題の共有と解決策に関する相互助言を行っていただきます。
- ・ 原則的に講師がファシリテーター兼相談相手としてグループに入ることを想定していますが、班分けの都合等で講師が入らない場合もあります（ご経験が長い方ばかりの班が設定できるような場合など）。

16：35～16：55 演習2：全体共有+講師陣からのコメント

- ・ 班ごとのグループワークで見えてきた課題について全体共有を図りつつ、講師陣からコメントをさせていただきます。

16：55～17：00 アンケート記入タイム

- ・ アンケート（オンライン）へのご記入をお願いします（完了した方よりお帰りいただけます）。

6. 申し込み方法と期間

- ・ 申し込みは、令和7年6月20日（金）13時から開始します。当機構「大学質保証ポータル」の案内ページにお進みください。
<https://niadqe.jp/event/7364/>
- ・ 対面参加希望の方は、班分けの都合もありますので、7月25日（金）17時までにお申し込みください（満席になった場合には、その時点で締め切らせていただきます）。
- ・ オンラインのみでの参加の方は、7月29日（火）の17時まで受け付けています。
- ・ 申し込みをされますと確認メールがお手元に届きますのでご確認ください。

7. その他のご案内

- ・ 資料は、7月30日（水）15時までに電子的に配付します（現地においても原則、紙資料の配付はありません。事前のダウンロード等をお願いいたします）。
- ・ オンライン会議の接続先の URL、（対面参加の方の）当日の入館方法については資料配付の際に合わせてご案内させていただきます。
- ・ 申し込みを行ったにもかかわらず、これらの日付を過ぎても当機構から連絡がない場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください（迷惑メールフォルダ等に振り分けられていることもありますので、ご連絡の前にご確認ください）。
- ・ 対面参加の方でご欠席になる場合には、班編制の都合もありますので、下記の問い合わせ先までメールでご連絡ください。
- ・ 広報や報告書作成のために会場の写真等を撮影し、当機構「大学質保証ポータル」等で公表させていただきますので、あらかじめご承知おきください。人物が一部写り込む場合は個人が特定できないよう留意いたします。
- ・ 第1部については、当日参加いただけない方への情報提供も兼ねて「大学質保証ポータル」での公開を計画しています（詳細決まりましたらご案内いたします）。
- ・ 第2部（対面・演習編）では自由な意見交換等を行っていただくため録音、撮影はご遠慮ください（主催者側で記録用に録音等を行う場合はありますが研修事業（成果報告等を含む）以外での利用はいたしません）。
- ・ なお、第2部では、お名前、ご所属、職位のみを掲載した名簿（班分け表）をお配りします。

8. 問い合わせ先

大学改革支援・学位授与機構 評価事業部 評価企画課 企画第2係

E-mail : hyokikaku2@niad.ac.jp